

エコアクション21 環境活動レポート

(対象期間：2024年1月1日～2024年12月31日)

2025年5月15日 発行



i-broad
株式会社アイ・ブロード

〒417-0001 静岡県富士市今泉339-1

目次

1	組織の概要	P1
2	環境経営方針	P2
3	実施体制	P3
4	環境経営目標	P4
5	環境経営計画	P5
6	環境経営目標の実績とその評価、次年度の環境経営目標	P6
7	環境経営計画に基づき実施した取組内容・取組結果とその評価、次年度の環境経営計画	P7
8	当社の取り組み	P9
9	SDGsとの関わり	P13
10	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P20
11	代表者による全体の評価と見直し・指示	P21
12	環境上の緊急対策	P22

1.組織の概要

1. 事業者名及び代表者名
株式会社アイ・ブロード
代表取締役 上柳 正仁

2. 所在地

名 称	所 在 地	延床面積	備 考
本社	静岡県富士市今泉1774-1	35㎡	登記上の本社
今泉事業所	静岡県富士市今泉339-1	74.05㎡	今回の認証対象
EV棟（研修ルーム）	静岡県富士市今泉1694-3	57.4㎡	今回の認証対象

3. 環境管理責任者、事務担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者：上柳 尚美

TEL：0545-30-6116

事務担当者：丸山 りえこ

E-mail：maruyama_r@i-broad.co.jp

4. 事業の概要

人材派遣・業務請負

プログラミング教室の運営

5. 事業規模（2024年12月31日現在）

項 目	人材派遣・業務請負	プログラミング教室の運営
売上高	全社 5億9千万円（内、PG教室0.45%）	
従業員数	7名	2名（委託1名、アルバイト1名）
生徒数		24名

6. 事業年度 毎年 1月1日～12月31日

7. レポートの対象期間及び発行日

環境経営レポートの対象期間（2024年1月1日～2024年12月31日）

環境経営レポートの発行日（2025年5月13日）

8. 対象範囲（認証・登録範囲）

活動：全活動

対象組織：全組織

2.環境経営方針

株式会社アイ・ブロード 環境方針

[環境理念]

当社は、株式会社アイ・ブロードの社是・社訓、経営理念に基づき、人材派遣・業務請負業として、地域の環境活動およびSDGsを自主的・積極的に取り組みます。
また従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

[基本方針]

当社は環境理念に基づき、以下の基本方針を定め、継続的な環境経営を展開します。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量等の削減に努めます。
 - 1) 電気、ガソリン等の使用量の削減に努めます。
 - 2) 節水活動による水使用量の削減に努めます。
2. 環境関連法規制等の遵守
環境関連法規制を遵守します。
3. 環境経営の継続的改善
環境に配慮した使用量の削減活動を中心に環境経営の継続的改善を行います。
4. 環境コミュニケーションの実施
 - 1) 社外に環境活動レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図っていきます。
 - 2) 社内においては、全従業員に環境方針を周知し、全社員参画による取組を目指します。
5. 社会貢献の取り組み
年2回、グループ会社全体で地域の清掃活動を実施します。従業員だけでなくその家族の方やお取引先の方にも参加していただき、地域の皆さんが気持ちよくこの町で暮らせるよう努めます。

制定年月日 2017年9月1日（初版）
2020年6月1日（改訂）

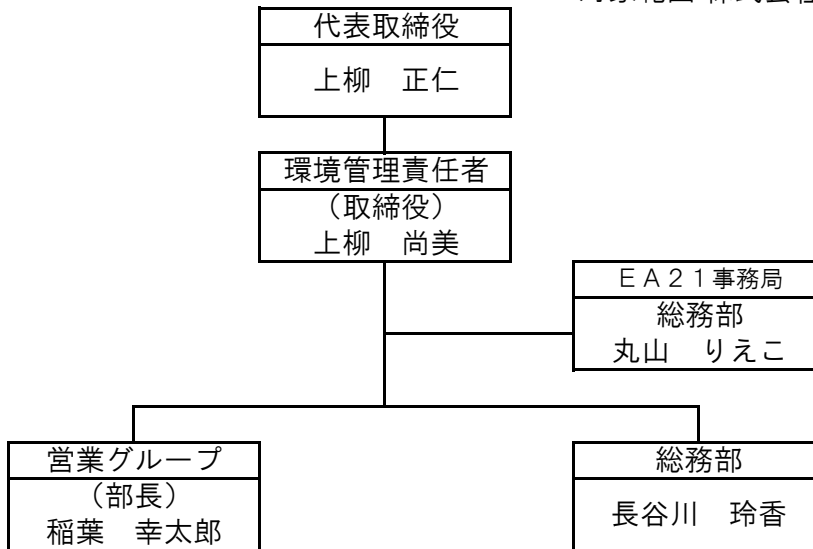
株式会社アイ・ブロード
代表取締役 上柳 正仁

3.実施体制

作成日 2021年1月14日（改定：2024年5月11

作成者 上柳 尚美

対象範囲 株式会社アイ・ブロード 今泉事業所



<関係者の権限と役割>

代表取締役

- ① 環境経営全般に関する責任と権限
- ② 環境経営に必要な資源の準備
- ③ 環境経営システム全体の評価と見直し
- ④ 環境管理責任者の任命
- ⑤ 経営の課題とチャンスの明確化

環境管理責任者

- ① 環境経営システム全般の運用・管理
- ② 環境目標及び環境活動計画の作成
- ③ 取組状況の社長への報告
- ④ 環境活動レポートの作成

EA21事務局

- ① 環境負荷データ等の集計
- ② 環境目標・環境活動計画の進行管理
- ③ 「環境負荷」及び「環境への取組」の自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者へ取組状況の報告
- ⑤ 法規制の遵守状況チェック
- ⑥ 文書・記録の管理

各部門長

- ① 部門の環境活動計画の実施
- ② 部門データの集計
- ③ 部門の問題点把握と是正対策の実施
- ④ 部門取組状況の事務局への報告
- ⑤ 部門の従業員教育

その他の従業員

- ① 自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する

4.環境経営目標

1. 2024年度運用期間（2024年1月～2024年12月）の環境目標

項目		単位	基準年度	2024年度	
			2019年度	2024年1月～2024年12月	
			基準値	目標削減率	目標値
二酸化炭素排出量		kg-CO2	36,141	-3%	35,057
内訳	電力	kWh	32,815	-3%	31,831
	ガソリン	L	8,627	-3%	8,368
	軽油	L			
	灯油	L			
	プロパンガス	kg			
廃棄物排出量	産業廃棄物	t			
	一般廃棄物	kg	102.6	-2%	101
水使用量		m ³	125	現状維持	125
化学物質使用量		—			
BCPミーティング		回		—	6
改善事例発表会		回		—	6

<備考>

- 1.「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東京電力(平成27年度)調整後排出係数の「0.491kg-CO2/kWh」を使用した。
- 2.上表の斜線は、当社では使用していない項目である。
- 3.BCPミーティングは「連携事業継続力強化計画」認定に向けた勉強会への参加を指す。

2. 短期・中期の環境目標

環境目標は、2019年度を基準年とした基準年比で示す。

項目		単位	基準年度	削減率等		
			2019年度	2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量		kg-CO2	36,141	-3%	-3%	-3%
内訳	電力	kWh	32,815	-3%	-3%	-3%
	ガソリン	L	8,627	-3%	-3%	-3%
	軽油	L				
	灯油	L				
	プロパンガス	kg				
廃棄物排出量	産業廃棄物	t				
	一般廃棄物	kg	102.6	-2%	-2%	-2%
水使用量		m ³	125	現状維持	現状維持	現状維持
化学物質使用量		—				
改善事例発表会		回		6	6	6

<備考>

- 1.「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東京電力(平成27年度)調整後排出係数の「0.491kg-CO2/kWh」を使用した。
- 2.上表の斜線は、当社では使用していない項目である。
- 3.2019年度を基準とした。

5.環境経営計画

(2024年1月～2024年12月)

環境活動項目				責任者	スケジュール（実施月）											
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
二酸化炭素の削減	ドライブ・エコ・	A	不要なアイドリングの禁止	上柳												
		B	急発進・急加速の禁止													
		C	不要な荷物を積まない ◆月に1回チェックする（月初～中旬）													
		D	効率的なドライブルートを選定 （予定管理ノートにて個々に検討）													
	管理・運転等	A	車両の定期点検（走行キロ数、積載物・エンジンオイル等の確認）◆月に1回チェックする	上柳												
		B	低冷暖房運転の励行													
	空調等	A	エアコンの設定温度を夏季27℃、冬季20℃に設定	上柳												
		B	空調を必要な区域や時間に限定して使用する													
		C	使用していない部屋の空調は停止する													
		D	クールビズ、ウォームビズを実施し、冷暖房の使用を抑える													
		E	空調フィルターの定期清掃 ◆夏前(6月)、冬前(10月)、2回/年													
		F	ブラインドの利用等により、熱の出入りを調節する													
		G	窓ガラス等の断熱コーティングの実施（南向き3面）													
	事務所	A	高効率照明の採用（LED灯）	上柳												
		B	照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理する ◆1回/年(年末)													
		C	事務室、食堂等の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯する													
		D	書庫、倉庫、トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する													
		E	コピー機は使用後、省電力モードに切り替える													
		F	帰宅時にパソコンの主電源を切り、コンセントを抜く													
		G	2S活動の実施													
省資源		A	会議用資料はデータで参照し、出力を控える	上柳												
		B	社内LAN、データベース等の利用による文書の電子化に取り組む													
		C	印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるように考慮し、残部が出ないように配慮する													
		D	コピー機は、枚数や拡大・縮小の誤り等のミスコピーを防止するため、使用前に設定を確認するとともに、次に使用する人に配慮し、使用後は必ず設定をリセットする													
水使用量の削減		A	水もれ点検の実施 ◆1回/月チェックする(月初)	上柳												
		B	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する													
リサイクルの促進		A	紙、可燃ごみ、ビニール、埋め立て、鉄くず、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等・また分かりやすい表示により、ごみの分別を徹底する	上柳												
		B	コピー機、リンターのトナーカートリッジの回収ルートの確立・リサイクルを図る													
		C	回収した資源ごみがリサイクルされるよう確認する（委託業者等に対して）													
グリーン購入		A	環境ラベル認定等製品を優先的に購入する	上柳												
社会貢献		A	年に2回、地域の清掃活動を開催。従業員だけでなくその家族にも参加を促す	上柳												

※グリーン購入：環境に配慮した物品等の購入、使用等。

6.環境経営目標の実績とその評価次年度の環境経営目標

運用期間（2024年1月～2024年12月）の環境目標の実績

項目	単位	基準期間	運用期間				
		2019年1月 ～ 2019年12月	2024年1月 ～ 2024年12月				
		基準値	目標 削減率	目標値	実績 削減率	実績値	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	36,141	-3.0%	35,057	66.2%	23,204	○
内訳	電力	kWh	-3.0%	31,831	56.4%	17,961	○
	ガソリン	L	-3.0%	8,368	74.0%	6,196	○
	軽油	L					
	灯油	L					
	プロパンガス（LPG）	kg					
廃棄物排出量	産業廃棄物	t					
	一般廃棄物	kg	-2.0%	101	17.9%	18.0	○
水使用量	m ³	125		現状維持		95	○
化学物質使用量	—						
BCPミーティング	回			6		6	○
改善事例発表会	回			6		6%	○

＜備考＞ 削減比率は、目標値に対する削減量の割合である。

＜評価＞

電力	原因	今年も基準値よりも大幅に削減できているが、実績値に即して目標値を見直す必要がある。また引き続き電力の数値はグループ会社の合計値から比率で算出している為、要因は明確にならないが、不要な電気の消灯、空調設備や換気の定期メンテナンスをしながら上手く使い、効率的な使用を心掛ける。またオンライン化、AI活用等をして業務効率化を図り、無駄な支出を減らしていく。
BCPミーティング	取組	「連携事業継続力強化計画」認定に向け、中小機構中部本部中小企業アドバイザーの方による勉強会を6回受講し、グループ会社と共に認定を受けることができた。
改善事例発表会	取組	グループの垣根を越えて編成されたサークルごと、毎月1回改善事例発表会を実施。当社としては2ヶ月に1回の頻度で事例を発表。当グループは様々な業種があるため、新しい視点からの改善を学ぶことができ、よりよいサービスの提供、業務効率化、技術伝承、コミュニケーション強化を目的としている。

次年度及び中期環境経営目標

項目	単位	基準年度	削減率等		
		2019年度	2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2	36,141	-3%	-3%	-3%
内訳	電力	kWh	-3%	-3%	-3%
	ガソリン	L	-3%	-3%	-3%
	軽油	L			
	灯油	L			
	プロパンガス	kg			
廃棄物排出量	産業廃棄物	t			
	一般廃棄物	kg	-2%	-2%	-2%
水使用量	m ³	125	現状維持	現状維持	現状維持
化学物質使用量	—				
改善事例発表会	回	6	6	6	6

※水使用量については使用量が少ない為、現状維持とする。

7.環境経営計画に基づき実施した取組内容・取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

環境活動項目				責任者	評価	コメント	今後の取組内容
二酸化炭素の削減	エコ・ドライブ	A	不要なアイドリングの禁止	上柳	○	応募者の面談や取引先等の商談をオンライン化したことで移動費や時間の削減に繋がった。また社内会議やグループ間会議でもオンラインを活用できている。	継続
		B	急発進・急加速の禁止		○		
		C	不要な荷物を積まない ◆1回/月チェックする（月初～中旬）		○		
		D	効率的なドライブルートの選定 （予定管理ノートにて個々に検討）		○		
	運転管理等	A	車両の定期点検（走行キロ数、積載物・エンジンオイル等の確認） ◆1回/月チェックする（月初～中旬）	上柳	○	委員会により社用車の管理を行っている。またアルコールチェッカーでの勤務開始前後の確認を継続している。	継続
		B	低冷暖房運転の励行		○		
	空調等	A	エアコンの設定温度を夏季27℃、冬季20℃に設定	上柳	○	エアコンの設定温度は至適温度になるよう換気とあわせ適宜温度調整しながら対応できている。	継続
		B	空調を必要な区域や時間に限定して使用する		○		
		C	使用していない部屋の空調は停止する		○		
		D	ケルピズ、ウォームピズを実施し冷暖房の使用を抑える		○		
		E	空調フィルターの定期清掃 ◆夏前(6月)、冬前(10月)、2回/年		○		
		F	ブラインドの利用等により、熱の出入りを調節する		○		
		G	窓ガラス等の断熱コーティングの実施（南向き3面）		○		
	事務所	A	高効率照明の採用（LED灯）	上柳	○	引き続き、帰宅時にクリアデスクを徹底しパソコンの待機電力の削減に成功している。また毎月の2S委員会による巡回・指摘も継続しており個々への意識づけの機会も設けられている。	継続
		B	照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理する ◆1回/年(年末)		○		
		C	事務室、食堂等の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯する		○		
		D	書庫、倉庫、トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する		○		
		E	コピー機は使用後、省電力モードに切り替える		○		
		F	帰宅時にパソコンの主電源を切り、コンセントを抜く		○		
		G	2S活動の実施		○		
	省資源	A	会議用資料はデータで参照し、出力を控える	上柳	○	契約書・給与明細・請求書・業務マニュアル・その他社内向けの紙資料の電子化によりコピー用紙の使用量削減に繋がった。またそれに伴い郵送にかかわる資源も削減することが出来た。	継続
		B	社内LAN、データベース等の利用による文書の電子化に取り組む		○		
		C	印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるように考慮し、残部が出ないように配慮する		○		
		D	コピー機は、枚数や拡大・縮小の誤り等のミスコピーを防止するため、使用前に設定を確認するとともに、次に使用する人に配慮し、使用後は必ず設定をリセットする		○		
水使用量の削減	A	A	水もれ点検の実施 ◆1回/月チェックする(月初)	上柳	○	特に問題なし。今後も継続。	継続
		B	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する		○		
リサイクルの促進	A	A	紙、可燃ごみ、ビニール、埋め立て、鉄くず、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等・また分かりやすい表示により、ごみの分別を徹底する	上柳	○	特に問題なし。今後も継続。	継続
		B	コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収ルートを確認し、リサイクルを図る		○		
		C	回収した資源ごみがリサイクルされるよう確認する（委託業者等に対して）		○		
グリーン購入	A	A	環境ラベル認定等製品を優先的に購入する	上柳	○	特に問題なし。今後も継続。	継続
社会貢献	A	A	年に2回、地域の清掃活動を開催。従業員だけでなくその家族にも参加を促す ◆2回/年	上柳	○	取引先企業様に協賛いただき、第2回目のスポGOMI大会（スポーツとゴミ拾いを掛け合わせた企画）を実施。継続している清掃活動をより広げることが出来た。	継続

<備考>

1.取組期間の評価は2024年1月～2024年12月の1年間の実績評価である。

2.評価判定

○（良くできた）・△（まあまあできた）・×（できなかった）・―（実施が見送られた）

7.環境経営計画に基づき実施した取組内容・取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◆BCPミーティング

目的：「連携事業継続力強化計画」認定を目指し、単独では対応しにくいリスクに対処し、災害時の相互協力体制を構築するため。

講師： 中小機構中部本部中小企業アドバイザー

協力者： お取引先担当者

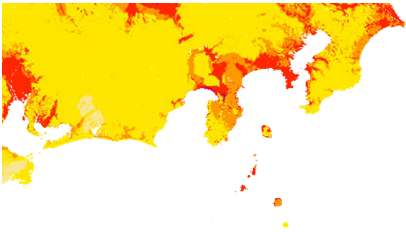
参加者： グループ各社の責任者

実施日： 2/27、4/16、5/14、7/17、8/20、9/11（全6回）

防災現場チェックシート		チェック日	2024/5/13
設備名	チェック項目	チェック場所	アイ・ブロード
消防設備	消火器	使用期限内か？	
	消火器	容器や栓、ホース等に損傷・変形はないか？	○
	消火器	持ち出しやすい位置に置かれているか？	○
	消火器	表示など設置場所が周知されているか？	○
	消火栓	火元に届くホース等が備えられているか？	—
	スプリンクラー	ヘッドの周囲に散水を妨げるものがないか？	—
	スプリンクラー	ヘッドや開閉バルブに損傷や変形がないか？	—
	火災検知器	検知や報知を妨げるものがないか？	○
	火災報知器	定期的な動作確認が実施されているか？	○
	館内放送	報知器や館内放送の音量は十分か？	○
		2箇所以上の避難口を有するか？	○
		経路上に障害物はないか？	○

「連携事業継続力強化計画認定事業者」
として認定を受けました。

洪水マップ



◆改善事例発表会

2024年発表テーマ

- ・求人修正の効率化
- ・見積書作成の効率化
- ・週報スプレッド化による作業軽減と共有
- ・案件進捗管理方法の改善
- ・生成AIを活用した求人広告の品質改善
- ・備品の見える化による業務改善
- ・管理アプリ活用による作業効率改善



8.当社の取り組み

◆地域貢献◆

～年に2回清掃活動を実施～

“富士山が見える私たちの町を綺麗にしたい”という精神でお客様や社員の家族の協力を得ながら、年に2回地域の清掃活動をしています。



■活動内容：清掃活動

実施日：5月18日（土）
場所：鈴川付近海岸線沿い
主催：東名グループ 協賛：ジヤトコ様
参加人数：443人（過去最多）

社員の家族や知人・お客様のご協力のお陰で、5月には過去最多人数443名（内、中高生約90名）で実施することができました。
以前行ったスポGOMIを基に自分たちで独自のルールも策定し、スポーツゴミ拾い大会として行いました。
規模が大きくなり、過去最大の参加人数となりましたが、子どもから大人まで楽しんでもらえる縁日や催し物も行い滞りなく成功させることができました。

※スポGOMIとは、企業や団体が取り組む従来型のごみ拾いに「スポーツ」のエッセンスを加え、今までの社会奉仕活動を「競技」へと変換させた日本発祥の全く新しいスポーツです。



■活動内容：清掃活動及び、外来植物除去活動

実施日：11月2日（土）
場所：丸火自然公園周辺
参加人数：計22人 ※規模縮小開催

庭山水白坂様とコラボし、清掃及び、外来植物除去活動を行いました。
初の外来植物除去活動でしたが、当日は雨天予想であったため、規模を縮小して行いました。
外来植物自体は、公園周辺ということもあり、予想していたよりも自生して



名称：コセンダングサ
開花時期：9月～12月



名称：セイタカアワダチソウ
開花時期：10月～11月



名称：フシネキンエノコロ
開花時期：7月～10月

8.当社の取り組み



～2024『チームちょこ美PLUS プロジェクト会議』参加～

美化活動を行っている企業・市民団体・市民で構成する「チームちょこ美PLUSプロジェクト」よりお声かけいただき、今年も会議に参加させていただきました。

【市環境総務課より】

令和6年度の動向報告やゴミマップの見直しとSNSを利用した情報発信の提案があった

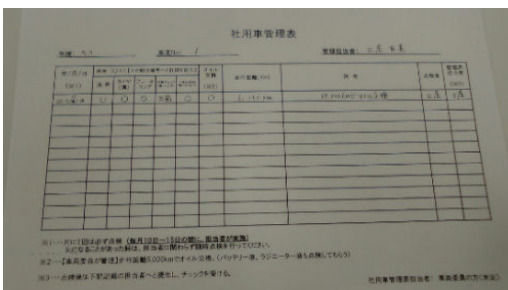
今後もこれまでの経験を活かしながら、企業やグループの垣根を超え、地元のネットワークを活かして社会貢献に取り組んでいけたらと思います。

◆エコドライブ◆



～オンライン活用～

商談やスタッフの登録面接をオンラインで行うことで、車の使用頻度を減らしてガソリン使用量の削減。
またスタッフへ直接手渡ししていた書類もオンライン上で確認できる仕組みに。

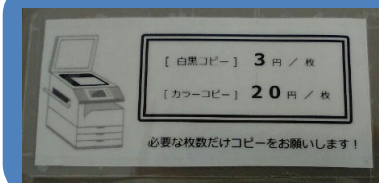


～車両点検の実施～

月に一回、車両委員会による定期点検を行い、外観だけでなく不要な荷物を点検したり、エンジンオイルやランプ等の点検も実施して社内の環境も整えています。

8.当社の取り組み

◆省電力・省資源◆



節電モードに切り替えて
消費電力削減！



～複合機への掲示～

消費電力削減の促しや、コピー料金を掲示することで紙やインクの使用量を意識させ、省電力・省資源を意識づけています。



～エアコン・電気スイッチ 付近への掲示～

設定温度を掲示したり、また温度の設定でどのくらい効果があるのかを掲示することで、



～LED照明の採用～
事務所全体をLED灯にすることで、
高効率を実現しています。



8.当社の取り組み

◆省電力・省資源◆

～資料のPDF化～

以前は出力して回覧・ファイリングしていたものをPDFにして回覧・保存する流れに変えたり、メールでの資料のやり取りに変えたりしたことで、資源の削減だけではなく、ファイリングの手間などの

[illegible]

～契約書・給与明細
・請求書の電子化～

派遣期間ごとに発生する雇用契約書や、毎月の給与明細をオンライン化しコピー用紙の使用量削減に繋がりました。またそれに伴い郵送にかかわる資源も削減することが出来ました。

その他、届けたい情報をすぐに届けられるというメリットもあります。

～紙資料の電子化～
業務マニュアルや、社内ルールを
記載したしおりを電子化し、
ペーパーレス化を行っています。

[illegible]

◆水使用量の削減◆

～水漏れ点検～

点検チェックシートを用いて、
月に一回、水漏れを点検しています。

[illegible]

◆リサイクル促進・CO2削減◆



～適切な分別～

分別回収BOXで、資源ごみ・可燃ごみ・ビニールごみ・埋め立てごみ・鉄くず類等の仕分けを行っています。
何をどこに捨てるのか、イラストと文字で明記することで、分別を促進しています。

9.SDGsとの関わり（グループでの取り組み）

アイ・ブロードでは、東名グループの会社間での交流の機会を多く設け、普段の業務だけでは気づけない、新たな視点を育める様々な取り組みを行っています。

このような様々な取り組みや活動が「SDG s (持続可能な開発目標)」推進につながると考え、課題に積極的に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



①キッズジョブ（富士市開催）への参加

富士市が主催する小・中学生を中心に対象とした就業体験イベントに出展。子供達の様々な分野への興味・関心を育てるお手伝いをしています。



対応するSDGs目標



②経営計画発表会

毎年6月にグループ会社の全社員が一堂に会し、各部門の基本戦略発表・会社からの表彰・活動実績の報告等を行う事で、チーム内の結束を高め全社一丸で考働しています。



対応するSDGs目標



③健康経営

東名グループでは健康経営を推進しています。静岡県独自の生活習慣改善事業である「ふじ33プログラム」の実施や、協力会社が主催するレースに参加、体力づくりを兼ねて運動交流大会を開催するなど、社員の健康に寄り添った経営を進めています。

またスポーツ庁で行っているスポーツエールカンパニーとしてブロンズ認定を受けています。

また過去にはグループ会社全体で運動会を行なった実績あり。大人も子どもも一緒になって日頃の運動不足を解消しながら、楽しいひと時を共有します。



対応するSDGs目標



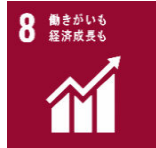
9.SDGsとの関わり（グループでの取り組み）

④社員総会

グループ会社の(株)アイ・ネクスト、(株)ティーアイビーと3社合同で毎年社員総会を開催し、目標や具体的行動について共有します。



対応するSDGs目標



⑤社員旅行

グループ会社の(株)アイ・ネクスト、(株)ティーアイビーと3社合同での社員旅行を行い、会社の垣根を超えて、様々な体験を共有、親睦を深める機会になっています。



対応するSDGs目標



⑥ラジオ体操講習

社員の健康増進を図る為に毎朝ラジオ体操をしたりラジオ体操講習会を受講したりしています。
またスポーツ庁で行っているスポーツエールカンパニーとして認定頂き2024年からはブロンズ認定となりました。
また2019年には「ラジオ体操の積極的実践を通じて普及発展に貢献した」として、(株)かんぽ生命保険・日本放送協会・NPO法人全国ラジオ体操連盟 様より表彰していただきました。



対応するSDGs目標



⑦その他の健康経営への取り組み

・「健康経営優良法人」認定
2023年から「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」の認定を取得しています。

・定期健康診断の実施とワクチン接種サポート
年1回、会社にてバス健診を実施。
また従業員と家族を対象にインフルエンザ予防接種費用を補助しています。

・メンタルヘルス不調の防止
心理カウンセラーによるストレスチェックと面談を実施。
また産業医による指導、助言もあり。

・健康講話
パリパラリンピック日本選手団帯同トレーナーの赤石龍士様を講師に招き、睡眠リズムを整える癒しの運動講座を実施。睡眠の質のセルフチェックや運動機能チェック、ま仕事中にできるストレッチや体操を実践しました。



対応するSDGs目標



9.SDGsとの関わり（グループでの取り組み）

⑧富士山清掃

「富士山に見える私たちの町をきれいにしよう」というコンセプトで年2回実施しています。社員だけでなく、家族やお客様にもご参加いただいております。毎回160名程の規模で実施する伝統的な活動です。2019年6月には富士山クラブより表彰されました。



※活動実績の詳細は【P.9】にてご紹介

対応するSDGs目標



◆「市民巻き込み賞」を受賞

富士市の市民団体コミュニティエフ様より、これまでの清掃活動の実績と、昨年行われたスポGOMI大会に対して「市民巻き込み賞」をいただきました。



⑨自己分析セミナー

◆清水エスパルス スクールコーチ向け

「自分が知らない自分とは」をテーマに、自己分析を経て、これから生徒をどう指導していくのかを考える会となりました。

～参加者の感想～

「視点が変わると見え方が変わる。自分以外の視点を取り入れる意識と常に自分を知るための行動が大切だと思いました。」

◆市内中学3年生向け

高校受験直前の学生に向けて、自分を知ることでのようなメリットがあるのか、どう面接に活かせるのかをワーク型で体験していただきました。また翌月には面接対策講座を行いました。

今後も地域の子供たちへのキャリア教育を進め、次世代の人財育成に取り組めます。



対応するSDGs目標



9.SDGsとの関わり（グループでの取り組み）

⑩職業講話、キャリアトーク

2024年実績

- ・職業講話、キャリアトーク、OB訪問（高校4校、中学校1校、小学校2校にて実施）
- ・インターンシップ（高校生向けに3日間実施）

◆面接力アップ講座（市内中学3年生向け）

過去の自己分析セミナーを評価していただき、高校受験直前の学生に向けて「面接力アップ講座」を行いました。

慣れない面接という場で初めは緊張して上手く伝えたいことが伝えられなかった生徒も、講座終了後は自信に満ち溢れた様子で、生徒たちが抱いていた面接に対する不安を軽減できたと思います。



◆職業講話（市内中学1年生向け）

「キャリアコンサルタントとは何か」をテーマに職業講話を行いました。2回にわたり、約40人の生徒が参加してくれ、講話では、キャリアコンサルタントの仕事内容や重要なポイントについて説明し、その後グループワークを通じて自己分析を行いました。



◆職業講話（市内中学1年生向け）

人材コーディネーターの仕事内容や志望理由をお話し、職業選択に役立つ情報をお伝えしました。

また就職相談や企業の人材不足について解説し、進路決定の助けとなれたらと思います。

以前の実績を評価され、指名での登壇となりました。



◆インターンシップ（市内高校生向け）

10数名の学生さんに向け、代表による講話と自己分析セミナーを実施。

以降は数名に分かれて、各職場を体験していただきました。

-高校生の感想-

「東名グループは会社数も多く、色々な事業を行っていることが強みだと思いました。今後、就職活動をする上では企業が地域にどれだけ貢献しているのかも判断の基準として入れたい」



対応するSDGs目標



9.SDGsとの関わり（グループでの取り組み）

⑪市内小学校にて SDG s セミナーを実施

富士山清掃などの地球環境保護活動や、多様性の時代における人材サービス事業について、SDGsへの取り組みをご紹介します。

セミナーでは一方的な授業ではなく、児童たちが身近なSDGsについて考え発表する機会が設けられ、評価いただくことができました。



9.SDGsとの関わり（人財サービス業として）

地域の「はたらく」を応援する企業として事業に取り組む中で、東名グループとしての活動に加え、当社の人財サービスを通してSDGsの推進に貢献できると考えます。



☑貧困をなくそう

当社では人材派遣・人材紹介業を主としている中で、様々なニーズに対応できるよう努めております。

■派遣元となるお客様視点・・・“必要な時に必要なスキルを持ったスタッフをご紹介”
→業種や各企業様における繁忙期等の人手不足の時期に、必要とされる人財をご提案することで採用にかかる経費削減になり、また派遣社員として契約して頂くことで採用後も社会保険料のコストをダウンに繋がる。

■派遣社員となるスタッフ視点・・・“ニーズに合わせたお仕事のご紹介”
→勤務地・勤務時間・勤務内容等、個々のニーズをヒアリングし、希望に近い仕事を複数ご紹介することで、より個々にあった環境での就業の可能性が上がり、仕事をする機会を設けることができる。

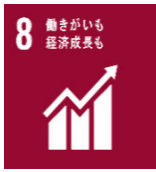


☑質の高い教育をみんなに

スキルアップを図るため資格取得支援等を行っている。ただ就業先が異なるスタッフへの教育時間の確保は困難なため、就業先の異なる社員含め、自宅学習の「e-ラーニング」を取り入れている。自分の業務やスキルに合わせた教材を、自分の自由な時間に取り組むことができ、通常業務では得られない知識を得る機会を提供している。

また2022年には新たに小学生をターゲットにした「プログラミング事業」を立ち上げた。プログラミングは小学校で必修科目となり、理科や算数にもプログラミング的思考が加わり2024年大学入試にはプログラミングが科目に追加される方針が正式に決定された今、コンピューターに関わる知識だけではなく 他教科にも関係する力を身につけることができるプログラミング教育を通して教育に貢献していきたいと考えている。

9.SDGsとの関わり（人財サービス業として）



☑働きがいも経済成長も

自分のスキルを必要とされる場所で発揮したり、また多様な職場でキャリアを積むことによりスタッフの能力向上となり、働きがいに繋がると考えられる。

また2020年4月に改正労働者派遣法が施行され、「同一労働同一賃金」の取り組みが始まったことにより、より能力に合わせた収入を得られるようになる。

また2022年からはミドル・シニア世代の就業支援事業を改めてスタート。

経験やスキルを活かしてまだまだ活躍したいと考える方のキャリアを応援すべく就職相談や、キャリアシート作成支援、スキルアップ支援、お仕事を紹介等を行っています。

専用サイト：<https://bit.ly/3XVsEnT>

◆シニア就職支援セミナー開催

シニア・ミドルシニア向けに就職支援セミナーを行っている。

人生100年時代に活躍し働き続けるシニアを目指す方を対象に、シニア・ミドルシニアの方向けの就職支援セミナーを開始。再就職に向けた就職活動のポイントや心構えなどをお伝えし、個別相談の場も用意している。希望される方にはお仕事紹介も行っている。

◆ハローワーク主催セミナー

ハローワーク主催の就職支援セミナーの委託を受け、県内のセミナーで講師を務めている。

再就職までの求職活動の進め方、自己理解に関すること、求職活動のノウハウなどをお伝えし支援を行っている。



☑エネルギーをみんなに そしてクリーンに

☑気候変動に具体的な対策を

外出する機会が多い営業職のある当社では、移動手段として車利用が頻繁にあるが、2019年より「Web面接」を取り入れ、商談やスタッフとの面談の際に直接車移動して会いに行くだけでなく、パソコンやタブレット・スマートフォンを使用して画面を通しての商談や面談を行い始めた。

今後より一層の活用をしていくことによりCO₂排出量の少ない営業活動を目指していく。

10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日：2024年2月15日 / 評価者：環境管理責任者 上柳 尚美

法令・条例		条項	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守結果
義務	法令	第6条の2 第6項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
		第12条第6項	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守	処理業者と契約契約書の締結	○
		第12条の3第1項	マニフェストの交付		○
		第12条の3第2項	マニフェストの保管	A票、5年間保管	○
		第12条の3第6項	マニフェストの保管	B2、D、E票の5年間保管	○
		第12条の3第7項	マニフェスト交付状況の知事報告	6/30までに報告書提出	○
		第12条の3第8項	管理票写しの送付がない時の適切な措置の実施	運搬又は処分業者からのD,E票の期間内返却	○
		家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法） 第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	指定家電廃棄時のサイクル料金の支払	○
		自動車リサイクル法（使用済自動車の再資源化等に関する法律） 第8条	使用済自動車の引渡義務		○
		第73条	使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払（廃車時）	
		省エネ法（エネルギーの使用の合理化に関する法律） 第4条	エネルギー使用量の合計が1,500L/年以上の事業者は届出	エネルギー使用量（原油換算地）の把握	○
		フロン排出抑制法（フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律） 第16条	冷凍空調機器：全ての第一種特定機器が対象 ①自身での「簡易点検（3ヶ月に1回以上）」実施。電動機定格出力に応じ有資格者による「定期点検」 ②空調機（50kW以上）1年に1回以上。 ③空調機（7.5kW～50kW未満）3年に1回以上。 ④冷凍冷蔵機器（7.5kW以上）1年に1回以上。	①企業・法人の管理者が確認 ②、③、④有資格者による定期点検実施	○
義務・努力	法令	第41条	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引き渡し義務 簡易点検の実施（3ヶ月に1度）	○
		環境基本法 第8条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
		地球温暖化対策推進法 第5条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
		循環型社会形成推進基本法 第11条	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力	○
		リサイクル法（資源の有効な利用の促進に関する法律） 第4条	指定再資源化製品のリサイクルへの協力（適正廃棄）	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	○
		グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律） 第5条	事業者の責務（国等の施策への協力等）	物品の購入、借り受け等する場合の環境物品等の選択	○

2. 当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

11.代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年1月～12月の1年間の取組について、環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を含めた実施状況等について評価を行なった。

環境経営方針については問題ないと判断した。

主要業務である派遣業において、オンラインツールを使った業務が浸透し、場所を選ばずに行える業務が多くなったことで、移動費や紙類等のコストが削減され、業務の効率化が図られているため、ガソリン使用量や一般廃棄物の量が削減されていると考えられる。

2024年は【進化し続け、変化を恐れず、社員を育成する】ことをテーマに、物価上昇への対応としてベースアップを実施した。市場においての資材高騰も含めて、改めて物価上昇に耐えうる売上上昇、利益向上が必須であり、組織の見直しや協力者の確保、社内DX化や社内PRの強化を行い、また従業員一人ひとりがデジタルスキルを身につけてスキルアップすることを推進した。

その結果、グループ力強化事業の実施、社内システム化による効率強化、各部門・会社との協業、地域就業協力団体とのシニア向け就業活動での協業、地域での協業活動は進めることができおり評価できる。

一方で賃上げを支えるための活動を実施し利益向上を目指したが、利益目標は未達に終わってしまった。また新卒・中途採用においても大変苦戦しているが、YouTubeなどの会社の認知を高めるための動画制作を内製化できたことで新たな挑戦の可能性が見えた。

また派遣スタッフの平均年齢55歳となっていることと、私たち自身も年を重ねていく中で、シニアライフサポート事業の構築を目指しており、シニア世代の方々が明るく希望に満ちた未来を描けるよう、自分達が考える明るいセカンドライフ（第二の仕事人生）の模索をしている。全世代の社員が生き生きと働ける環境づくりに注力し、シニア世代の豊富な経験と若い世代の新しい発想が融合する真の意味での「人を育てる組織」を目指す。

またグループ内で外国人の就労支援事業を始め、技能実習生・特定技能実習生・技人国などの紹介を行っており、グループ内やお客様先で勤務をスタートしていることから、今後新たな顧客層の獲得と収益源の多様化が期待できる。

東名グループ創業者の理念である「この仕事を通じて自らの生活向上を図る」という目標に沿って、今後も地域の子供たちへのキャリア教育を進めて次世代の人材育成に取り組むことや、人手不足解消に貢献できるよう邁進していく。

〈代表者からの指示〉

①方針・活動計画・実施体制は継続とする。

2025年 5月14日
株式会社アイ・ブロード
代表取締役 上柳 正仁

12.環境上の緊急対策

防災訓練議事録 作成日：2024年3月15日 作成者：丸山りえこ

実施日：2024年3月11日

訓練内容：津波が発生した際の避難訓練（初実施）

目的：津波発生が発生した時の動きと課題を把握するため

- ・災害発生時の役割の明確化
- ・通報訓練
- ・誘導訓練（車を使用）
- ・仮設電源（ポータブル電源）の運用試験
- ・安否確認

【評価できる点】

- ・今回もグループ会社全体で実施し、津波が起きた際に当社がある第二工場に勤務する社員が標高の高い場所にある第一工場まで車で移動するというシミュレーションを行えた。
- ・同時にポータブル電源の使い方についても学び、非常時に向けた万全な対策を行なえるようにシミュレーションができた。

【改善案】

- ・災害時の混乱の中、車ではスムーズに移動できないことが判ったため、別の対策を考えることが必要。
- ・各役割を誰でも対応ができるように流れを情報共有し、訓練していく事が必要。

【まとめ】

- ・これまでは火災や地震による避難訓練が主であったが、初めて津波を想定した訓練を行うことができた。ただ会社周辺は道路が狭く、商店街があったり、大きな工場やお店等も多いことから避難時は大混雑が予想され、また車での避難では交通が麻痺して立ち往生してしまうと思われるので、避難できる高い場所を調べて周知しておく等の対策が必要である。
- ・ポータブル電源については、電気工事や配電盤・制御盤関連製品の設計製造を行っているグループ会社（東名電機㈱）が主導で行った。グループ会社の別事務所では電気供給が止まってしまった時を想定し、数時間ポータブル電源のみで業務を行った。こちらは災害時以外にも役立つので、課題点を見つけて有事の際はグループ全体で活用できる



12.環境上の緊急対策

防災訓練議事録 作成日：2025年5月9日 作成者：丸山りえこ

実施日：2024年9月9日

訓練内容：地震を想定した災害訓練としてライフライン確保の訓練（初実施）

グループ会社と合同で5拠点で実施

（本社第一工場、第二工場、群馬工場、設備事業部、EV棟）

目的：飲食物の提供と電源確保の課題を把握するため

- ・災害発生時の役割の明確化
- ・誘導訓練
- ・救護講習（怪我の応急処置、AEDの取り扱い）
- ・防災食炊き出し、非常食の試食会の実施
- ・停電時の電源確保のためのポータブル電源、発電機の使い方講座
- ・防災クイズ
- ・仮設電源（ポータブル電源）の運用試験

【評価できる点】

- ・グループ会社全体で実際に業務している5拠点に分かれ実施し、よりスピーディーに本番に近い安否確認の流れで行うことができた。
- ・消防署の方による救護講習（怪我の応急処置、AEDの取り扱い）を実施できた。
- ・防災食の炊き出しを実施し、災害対応が可能であることを実証した。
- ・炊き出しではグループ会社（株）富岳テック）が制作した持ち運び可能な炊飯窯を使用して炊飯を行った。
- ・停電訓練では、事務所内において蓄電池・ポータブル電源を活用したり、工場内での照明利用を実施。課題点もありながら十分停電にも対応できることが証明された。

【改善案】

- ・今回は訓練に合わせて用意した非常食だったため、実際に日頃から備蓄してある飲食物を使用してみると、また新たな課題が見つかるかもしれない。またローリングストックなどで無駄なく美味しく活用できる体制づくりが必要。
- ・仮設電源で業務することで、使用頻度が低い機器を意識することができたので、普段から不要な電源は落とす等して、より意識して省エネに取り組んでいきたい。

12.環境上の緊急対策

【まとめ】

- ・炊き出しや非常食の試食を行い、いつもとはまた変わった雰囲気を実施することができた。
いつどこで災害に見舞われるかわからないため、飲食・インフラ以外にも季節に応じた対策等も進めていきたい。
- ・指導員の方をお招きしたAED講習会を定期的に実施できている。
社内にもAEDが設置されているため社内はもちろん、周辺で必要な際はすぐに活用できるように今後も定期的な訓練を行っていく。



←グループの公式YouTube「東名グループの日常」にて
防災訓練の様子をご紹介します。

12.環境上の緊急対策

■ 安否確認訓練

目的：災害時に迅速に全従業員の安否確認を行う

活動内容：月1回、訓練メールを配信・確認

安否確認サービス

Yahoo! JAPANビジネスID: (pugged8553violet - 登録情報 - ログアウト)

トップ

レポート

設定

 安否確認サービス

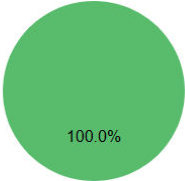
レポート詳細

>>レポート一覧に戻る

タイトル

【訓練】12月安否確認メール

[本文を見る](#)

返信状況	返信状況	割合	件数
 100.0%	返信済み	100.0%	114
	未返信	0.0%	0
	配信異常	0.0%	0

2024年	返信率	2024年	返信率
1月	100%	7月	100%
2月	100%	8月	100%
3月	100%	9月	100%
4月	100%	10月	100%
5月	100%	11月	100%
6月	100%	12月	100%

【課題】

この活動を数年続けており、安否状況の回答をするよう繰り返し促しをすることで、毎回100%の返信率とすることができた。また返信速度は徐々に早くなってきている。

但し、促しをしないと返信をしない人もいるので、メールに気付かないようであれば、メールアドレスの変更するなどの改善が必要かと感じる。

個々の災害に対する意識を高めることが重要となる。

■ 安全パトロール

実施日：1回/月

活動内容：各部署を巡回し、従業員の健康面の確認及び、危険個所の確認を実施。

実施後、是正内容の回覧。



【課題】

- ・危険個所だけでなく2Sの確認も行えた。
- ・従業員の健康面や危険個所についてのヒアリングを行えた。
- ・何点か連続月で同じ指摘が出てしまった。
- ・物が多いと感じたので改善が必要。